



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社岐阜造園 上場取引所 名
 コード番号 1438 URL http://http://www.gifu-zohen.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小栗 達弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 舟橋 恵一 TEL 058-272-4120
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	2,111	—	190	—	215	—	139	—
28年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 134百万円 (-%) 28年9月期第2四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	101.19	—
28年9月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成28年9月期第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年9月期第2四半期連結累計期間の数値及び平成29年9月期第2四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第2四半期	3,619	2,283	63.1	1,572.55
28年9月期	2,885	1,716	59.5	1,691.48

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 2,283百万円 28年9月期 1,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	—	—	30.00	30.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,816	△5.9	312	△10.4	311	△27.6	209	△26.6	148.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	1,451,800株	28年9月期	1,015,000株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	10株	28年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	1,373,730株	28年9月期2Q	－株

(注) 当社は、平成28年9月期第2四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数（四半期累計）」を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の新政権誕生や新興国経済の減速等、海外情勢の影響により先行き不透明感が増しているものの、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が継続しました。

建設業界においては、公共投資の漸減傾向が続く一方、民間設備投資は良好な企業収益を背景に堅調さを維持し、また、東京オリンピックの開催に向けた動きが活性化しつつあるなど、良好に推移しております。

このような状況の下で、当社グループは、継続的な成長基盤を強化するため、営業エリア拡大に向けた体制の整備を進め、継続的な収益が見込める案件の受注に注力してまいりました。また、ステークホルダーへの更なる利益還元のため、労働環境を改善し、業務をより効率化することで、事業の収益性の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,111,151千円、営業利益は190,126千円、経常利益は215,556千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は139,011千円となりました。

なお、当社グループは造園緑化事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて733,778千円増加し、3,619,472千円となりました。これは主に販売用不動産が70,655千円、流動資産のその他が70,836千円減少したものの、現金及び預金が432,130千円、受取手形・完成工事未収入金が359,061千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて167,613千円増加し、1,336,454千円となりました。これは主に未成工事受入金が49,664千円減少したものの、支払手形・工事未払金が200,256千円、未払法人税等が15,172千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて566,164千円増加し、2,283,017千円となりました。これは主に公募増資及び第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ231,067千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末に比べ431,530千円増加し、1,575,683千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業キャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は99,301千円となりました。これは主に、売上債権の増加額359,061千円等の資金の減少に対して、税金等調整前当期純利益215,556千円、保険金の受取額100,889千円等の資金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は67,881千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出79,644千円等の資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は400,111千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出20,040千円、配当金の支払額30,450千円等の資金の減少に対して、株式の発行による収入460,036千円の資金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,252,659	1,684,790
受取手形・完成工事未収入金	458,256	817,317
未成工事支出金	77,361	69,208
販売用不動産	115,648	44,992
繰延税金資産	19,948	19,630
その他	118,737	47,901
貸倒引当金	△1,517	△3,056
流動資産合計	2,041,095	2,680,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	136,487	133,781
土地	482,585	482,585
その他(純額)	7,712	15,871
有形固定資産合計	626,785	632,238
無形固定資産		
投資その他の資産	1,857	8,158
投資有価証券	70,075	143,356
繰延税金資産	—	6,773
保険積立金	68,919	28,010
その他	87,799	130,989
貸倒引当金	△10,839	△10,839
投資その他の資産合計	215,955	298,290
固定資産合計	844,599	938,687
資産合計	2,885,694	3,619,472
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	310,999	511,255
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	40,080	40,080
未払法人税等	78,082	93,255
未成工事受入金	108,698	59,033
賞与引当金	27,692	21,683
完成工事補償引当金	8,854	11,368
その他	99,417	123,921
流動負債合計	873,824	1,060,597
固定負債		
長期借入金	134,800	114,760
繰延税金負債	9,472	2,584
役員退職慰労引当金	125,715	128,361
退職給付に係る負債	24,868	25,206
その他	160	4,945
固定負債合計	295,016	275,857
負債合計	1,168,841	1,336,454

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	61,100	292,167
資本剰余金	2,398	233,465
利益剰余金	1,640,932	1,749,494
自己株式	—	△10
株主資本合計	1,704,431	2,275,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,421	7,901
その他の包括利益累計額合計	12,421	7,901
純資産合計	1,716,853	2,283,017
負債純資産合計	2,885,694	3,619,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	2,111,151
売上原価	1,557,019
売上総利益	554,131
販売費及び一般管理費	364,005
営業利益	190,126
営業外収益	
受取配当金	796
保険返戻金	33,562
その他	5,500
営業外収益合計	39,858
営業外費用	
支払利息	1,155
株式交付費	2,098
株式公開費用	9,119
その他	2,056
営業外費用合計	14,428
経常利益	215,556
税金等調整前四半期純利益	215,556
法人税、住民税及び事業税	88,046
法人税等調整額	△11,501
法人税等合計	76,544
四半期純利益	139,011
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,011

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	139,011
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△4,520
その他の包括利益合計	△4,520
四半期包括利益	134,490
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	134,490

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	215,556
減価償却費	8,121
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,539
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,009
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	2,513
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,645
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	338
受取利息及び受取配当金	△948
保険返戻金	△33,562
支払利息	1,155
株式交付費	2,098
株式公開費用	9,119
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,455
売上債権の増減額 (△は増加)	△359,061
販売用不動産の増減額 (△は増加)	70,655
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	8,152
仕入債務の増減額 (△は減少)	200,256
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△49,664
その他	1,041
小計	71,490
利息及び配当金の受取額	948
利息の支払額	△1,155
保険金の受取額	100,889
法人税等の支払額	△72,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,200
定期預金の払戻による収入	300
有形固定資産の取得による支出	△14,064
有形固定資産の売却による収入	3,590
投資有価証券の取得による支出	△79,644
無形固定資産の取得による支出	△523
保険積立金の積立による支出	△852
保険積立金の解約による収入	75,323
その他	△50,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△20,040
株式の発行による収入	460,036
株式公開費用の支出	△9,119
リース債務の返済による支出	△304
自己株式の取得による支出	△10
配当金の支払額	△30,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	400,111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	431,530
現金及び現金同等物の期首残高	1,144,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,575,683

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月1日付けで名古屋証券取引所市場第二部に上場いたしました。当社は上場にあたり、平成28年10月31日を払込期日とする公募増資により、発行済株式数が400,000株、資本金及び資本剰余金がそれぞれ211,600千円増加しております。

また、平成28年11月30日を払込期日とする東海東京証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社株式の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当増資により、発行済株式数が36,800株、資本金及び資本剰余金がそれぞれ19,467千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が292,167千円、資本剰余金が233,465千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、造園緑化事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。